

I 単元名 おじいちゃん おばあちゃん こんにちは

II 単元の指導構想

1 学習指導要領と本校の目標

総合的な学習の時間の目標

横断的・総合的な学習や探究的な学習を通して、自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成するとともに、学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的、創造的、協同的、に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えることができるようにする。



本校の総合的な学習の時間の目標

身近な地域や自然、人や文化に興味・関心をもち、人や自然、事象とのかかわり方を深めながら、自ら課題を追究し続け、地域への愛着を深め、自己の学びのよさや生き方を見つめる。

2 単元について

<単元について>	<単元の目標>	<目指す子どもの姿>
<p>本単元は、地域のお年寄りとの交流を中心に据え展開していく。お年寄りと一緒に遊んだりお話を聞いたりする中で、興味関心をもったことをもとに課題を設定する。その際、友達と探究内容について話し合うことで、より具体的な活動の見通しをもたせていく。また、探究活動を行う中で自分達のために一生懸命教えてくれるお年寄りに対して、子ども達が抱いた「優しいなあ」「ありがたいなあ」という感謝や親しみの気持ちを価値づけ、お年寄りへの思いを高めながら感謝の会を進めることができるようにしていく。このような探究活動を通して、子ども一人一人が地域のお年寄りとの絆を強くするだけでなく、お年寄りのために自分たちにできることを進んで考えたり行動したりしていく意識を高めていきたい。</p>	<p>ア 学習方法（課題設定、情報収集、整理・分析、まとめ・表現）</p> <p>① お年寄りとのかかわりや友達から得た情報をもとにして、課題を設定することができる。（課題設定）</p> <p>② お年寄りや友達から課題の解決に必要な情報を収集することができる。（情報収集）</p> <p>③ お年寄りとの交流で得た情報を共有したり、そこから課題解決に必要な情報を選択したりすることができる。（整理分析）</p> <p>④ お年寄りとの交流会や感謝の会に向けて、目的や相手に応じた表現方法を選択し、表現することができる。（まとめ表現）</p> <p>イ 他者や社会とのかかわり</p> <p>① よりよい内容や方法を決めるために、友達と進んでかかわっている。</p> <p>② 活動目的を明確にしてお年寄りと交流しようとしている。</p> <p>ウ 自分自身</p> <p>① お年寄りとの交流を通して得たことを振り返り、自分自身やお年寄りとのよりよいかかわり方を考えることができる。</p>	<p><目指す子どもの姿></p> <p>(1) お年寄りとのかかわりから、どんなことをもっと聞いてみたいのか、どんなことを伝えたいのか課題を見つけ、すすんで調べたりまとめたりすることができる子ども。</p> <p>(2) 課題を解決するために、目的・相手意識をもってお年寄りや友達とかかわることができる子ども。</p> <p>(2) お年寄りの優しさや生活の知恵、昔の文化のよさに気付き、お年寄りとのよりよいかかわり方を見出すことができる子ども。</p>

<復興教育（3つの教育的価値）との関連>

1 生命や心について【いきる】

地域やお年寄りとの交流から、よりよい考え方や生き方を見出し、それを生かしながら生活していくことの素晴らしさに気付く。

2 人や地域について【かかわる】「⑨【仲間や地域の人々とのつながり】との関わり」

友達やお年寄りとの交流を通して、様々な人達と互いに支え合い生活していくことの大切さに気付く。

3 活動計画及び評価計画

段階	時数	活動内容	評価（方法）
第1次 聞いてみ よう、調べて みよう、昔の こと	1	子ども会や学校、地域の行事等で、楽しくお年寄りと交流をした経験やその時の気持ちをふり返り、また交流したいという気持ちをもつ。	1年生の時に交流したことをもとに、これからお年寄りとしていたいことを考えている。(記録)【アー②】
	2	地域のお年寄りと一緒に遊んだり、お話を聞いたりして、昔のことに興味や疑問をもつ。	お年寄りと交流する中で課題につながる材料を集めている。(記録)【イー②】
第2次 おじい ちゃんおばあ ちゃんの知 恵袋の中は	1 本時	昔のことで自分がやってみたいことや教えてほしいことをイメージマップを使って明らかにしていく。	お年寄りとかかわりや、友達から得た情報をもとにして、課題を設定することができる。(記録)【アー①】 よりよい課題を設定するために、友達と進んでかかわっている。(行動観察)【イー①】
	4	自分がやってみたいことや教えてほしいことについて、課題が同じ子ども同士でグループを作り、お年寄りに教えてもらう。	お年寄りから知りたい情報を収集している。(ノート、行動観察)【アー②】 情報を得ようとお年寄りとかかわっている。(行動観察)【イー②】
	2	グループ毎に、お年寄りと交流して分かったことを伝え合い、自分たちが教えてもらったことを明らかにする。	自分が得た情報を友達と共有し、その中から自分に必要な情報を選んでいる。(記録)【アー③】
	6	お年寄りから学んだ昔の知恵をみんなで共有するために、グループごとに模造紙や画用紙にまとめる。	相手や目的を考えてまとめ方を選んだり発表したりしている。(発表資料、行動観察)【アー④】
	2	みんなに自分達の教えてもらったことを知ってもらうためにグループごとに発表の練習をする。	友達のまとめ方や内容のよさをとらえている。(記録)【イー①】
	3	お年寄りから学んだ知恵をまとめたものを交流することで、昔の知恵の素晴らしさを共有する。	
第3次 ありがとう そして これからも よろしく	2	知りたかったことを一生懸命教えてくれたお年寄りとの交流を振り返り、感謝の気持ちを持ち、その気持ちを伝えるために自分達ができることをイメージマップを使い考える。 例・・・ 教わったことの発表、会場装飾、感謝の手紙、一緒に楽しむレク、招待状作成 等	お年寄りのことを考えながら、感謝の会の内容を明らかにしている。(記録)【アー①】 よりよい感謝の会の内容を決めようと進んで友達とかかわっている。(行動観察)【イー①】
	6	みんなで作った感謝の会に向けて、グループごとに分かれ、準備をしたり練習をしたりする。	お年寄りに感謝の気持ちを伝えられるように準備や練習をしている。(行動観察)【アー④】
	4	お年寄りを招待し、感謝の会を開き、感謝の気持ちを伝える。	目的意識をもって、進んでかかわっている。(行動観察、記録)【イー②】
	1	探究活動や感謝の会を通して考えたことを発表し合い、自己の学びをノートに振り返る。	お年寄りと交流したことについて、考えたことを振り返っている。(記録)【ウー①】
	8	自分達がお年寄りのためにできることイメージマップを使って考えたり、準備などをしたりして実行する。 例・・・ 手紙で交流する。運動会や音楽発表会へ招待する。 花を育ててプレゼントする。	お年寄りとよりよくかかわれるよう、自分ができることをイメージマップを使い考えている。(記録)【アー①】 情報を得ようと友達とかかわっている。【アー②】 お年寄りのためにできることを友達と話し合っている。(行動観察)【イー①】 これからのお年寄りとのよりよいかかわり方を考えている。(記録)【ウー①】

Ⅲ 本時の指導構想

1 本時の指導

◆子ども像 友達とかかわりながら、よりよい課題を見出す子ども

イメージマップや対話を用いて、子ども一人一人がより切実感のある探究課題や内容を見出すことができる子ども。

◆授業像

イメージマップに表した自分の探究課題や内容について友達と対話しながら加筆修正し、よりよい探究の方向性を明らかにする授業。

ねばり強く探究を続ける子ども

探究への意欲の高まり

よりよい課題の決定

よりよい課題を
見出すための対話

疑問・関心から生まれた探究したい課題

自分の考え

友達の考え

・ 探究課題

・ 探究内容

お年寄りとの出会いによって生まれた疑問・関心

- ・ 昔はどんな遊びをしていたの？
- ・ 昔の学校ではどんな勉強していたの？
- ・ お年寄りとなかよくなりたいたい・昔の遊びをもっと知りたい。

よりよい課題を見出すための手立て

その3 自分の考えを決定する場を設ける。

↓
対話を通してイメージマップに書きこんだ考えをもとに、探究する課題を吟味し決定する。

その2 対話の手掛かりとなる環境を整える。

↓
(1) 次のことが書かれたものを掲示し、対話の助けとする。

- ・ 前時までの活動の流れが分かる写真や映像
- ・ 活動した際の子ども達の感想
- ・ 活動していた時のお年寄りの言葉

(2) イメージマップ作成時、活動が停滞している子どもの声をひろうことで、対話への必要感や方向性がもてるようにする。

その1 自分の考えを可視化する。

↓
前時の振り返りやVTRをきっかけに、2つの視点でイメージマップに、自分の考えを書き表すことができるようにする。

- ・ 探究課題
- ・ 探究内容

終末

展開

導入

2 目標

イメージマップ作成を通して、自分の探究したい課題や内容を明らかにする。

3 本時の評価規準

観点	評価規準	期待する子どもの姿	努力を要する児童への手立て
学習方法	お年寄りとのかかわりや友達から得た情報をもとにして、課題を設定することができる。(記録) 【ア-①】	イメージマップに自分の考えだけでなく、友達の考えも書き入れながら、探究課題を明らかにしている。	<ul style="list-style-type: none"> 交流したときの振り返りを確認する。 活動の様子が分かる掲示を示し、どんなことをしたか声掛けをして想起させる。
他者や社会とのかかわり	よりよい課題を設定するために友達と進んでかかわっている。(行動観察) 【イ-①】	探究課題を明らかにするために、自分が困っている部分を友達に聞いていたり、困っている人にアドバイスをしていたりする。	<ul style="list-style-type: none"> 困っている部分はどんなことなのか確認して、そのことを伝えるようにアドバイスする。 困っている人にアドバイスをしてあげるように声掛けをする。

5 展開 (4 / 4 2時間)

	学習活動と予想される子どもの考え	時間	教師の主な支援 (◆: 今次研究にかかわる内容), □評価 (方法)
導入	<p>1 前時までの思いを振り返る。</p> <p>おじいちゃん、おばあちゃんからたくさん昔の遊びを教えてもらってうれしかった。</p> <p>もっと一緒に遊びたかった。</p> <p>おじいさんが話していた昔の学校ことをもっと聞きたかった。</p> <p>おばあさんが言っていたおやつはどうやって作るのかな？</p> <p>2 本時の課題をつかむ。</p> <p>おじいちゃんおばあちゃんからもっと教えてほしいことを考えよう。</p>	10分	<p>○ 交流の様子やお年寄りにインタビューした VTR を提示し、お年寄りにもっといろいろなことを教えてもらいたいという気持ちを高める。</p> <p><お年寄りにインタビューした VTR></p> <p>子ども達とお話できて楽しかった。</p> <p>またお話したり、遊んだりしたい。</p> <p>○ お年寄りからのメッセージを紙板書で掲示し、お年寄りの思いをいつでも確認できるようにする。</p>

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">展開</p>	<p>3 探究したい課題を考える。 例・・・遊び（こま回し、けん玉、あやとり等）、 昔の学校、食べ物、生活、</p> <p>4 友達との対話を通して探究課題や内容を吟味する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 友達の考えを聞いたり自分の考えを教えたりする。 ・ イメージマップに参考になった考えを書き加える。 <p>僕はこま回しについてもっと知りたい。上手に回すために、ひもの巻き方を聞いてみようと思う。</p> <p>ひもの巻き方だけでなく、投げ方も聞いたらいいんじゃないかな。</p> <p>私はおばあちゃんが話していたしょうゆだんごを作ってみたい。材料や準備するものを聞いてみたいな。</p> <p>僕も一緒だ。あとは、違う味のおだんごも作れるか聞いてみたいな。</p> <p>5 探究したい課題を決定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 対話をもとに探究する課題や内容を決定する。 <p>僕はこま回しについて聞くことにしよう。ひもの巻き方だけでなく、投げ方も聞いてみるぞ。</p> <p>私はしょうゆだんごの作り方を聞くことに決めた。材料や準備するものを聞いたり、違う味が作れたりするのか聞いてみよう。</p>	<p style="text-align: center;">30分</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ イメージマップを用いて自分の考えを可視化する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 探究課題、探究内容の2点について書くように視点を与えたり作成の助けとなるように書き方を例示したりする。 ◆ 対話の手掛かりになる環境を整える。 <p>(1) 対話の助けとなる掲示</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ お年寄りと交流したときの様子がわかる写真を遊びの種類ごとに掲示する。 ・ 子どものつぶやきや、お年寄りの感想を掲示する。 <p>(2) 対話の必要感や方向性がもてるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ イメージマップを作成していて困っていることを聞き、対話への必要感を感じさせる。 ・ イメージマップを作成し困っている点を板書し、対話の方向性をもたせる。 <p><input type="checkbox"/> よりよい課題を設定するために友達と進んでかかわっている。(行動観察)【イー①】</p> ◆ 自分の考えを決定する場を設ける。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の考えと書き加えた友達の考えをもとに探究課題を吟味し決定する時間を確保する。 <p><input type="checkbox"/> お年寄りとのかかわりや友達から得た情報をもとにして、課題を設定することができる。(記録)【アー①】</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">終末</p>	<p>5 本時を振り返る。</p> <p>私はこま回しについて教えてもらいたいと思います。ひもの巻き方や投げ方を聞いてみたいです。</p> <p>僕は昔のおやつ作りについて教えてもらいたいと思います。おだんごやたんきりという食べ物を作りたいです。</p> <p>僕は、だんごについて聞こうと思っていたけど、〇〇さんと話して、昔の学校について教えてもらいたくなりました。昔はどんな勉強をしていたのか聞いてみたいです。</p>	<p style="text-align: center;">5分</p>	<p><input type="checkbox"/> 次のような点について振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 明らかになった探究課題 ・ これからやってみたいこと、楽しみにしていること